

KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

OCTOBER
2019 **AUTUMN**
No.265



関西学院大学

院長とたどる！
関西学院
130年の歴史



KG JOURNAL

OCTOBER
2019 AUTUMN
No.265

関西学院通信
[関学ジャーナル]

学長のポケット

学長・村田 治



記念すべき年

今年、2019年は関西学院にとってさまざまな意味で周年記念の節目の年に当たっています。いま一度、2019年に焦点を合わせて関西学院の歴史を簡単に見てみましょう。

まず、初代院長ランバス博士によって関西学院が神戸原田の森に創設されたのが1889年であり、今年は創立130周年に当たります。また、ベーツ初代学長の尽力により本学が上ヶ原に移転し大学に昇格したのが1929年であり、上ヶ原移転・大学開設90周年に当たります。

また、1960年代の大学紛争の最中「関西学院大学改革に関する学長代行提案」が出され紛争の終結がなされたのが1969年5月であり、いわば、大学紛争終結50周年と言えます。実は、わが国の4年制大学への進学率が15%を超えて大学教育がエリート段階からマス段階に入ったのが1969年です。この関係で言いますと、4年制大学への進学率が50%を超えていわゆるユニバーサル段階に入ったのが2009年です。また、2009年は聖和大学との合併によって西宮聖和キャンパスが開設された年であり、今年は、日本の4年制大学がユニバーサル段階への移行、西宮聖和キャンパス開設10周年の年に当たっています。

少しだけ現在と未来について考えてみましょう。今年、2019年は、将来構想 Kwansei Grand Challenge 2039 が実施計画段階に入った年であり、さらに、神戸三田キャンパスの再編を決定した年でもあります。*2021年に神戸三田キャンパスは、総合政策学部、理学部、工学部、生命環境学部、建築学部の5つの学部にも再編されます。2021年は総合政策学部が新たな四半世紀に入る年であり、理学部開設60周年の年に当たります。

2019年が関西学院の新たな発展の出発点となる記念すべき年になることを心から願います。

- 1 学長のポケット
- 2 特集 世界市民を育む、学びがある。院長とたどる！
関西学院130年の歴史
- 11 ひとひと
- 13 Research & Research
教育学部 原田 大介 准教授
- 15 Go Global!
荻野 友里さん(国際学部3年生)
My favorite KG
チャジー ウィー(パネッサ)さん
(ニュージーランド)
- 17 Moment
- 19 TALK DEEP
～防災の継続と定着を考える～
- 25 KG CLUB
文化総部 マンドリンクラブ
- 27 学院通信
関学カプセル
KGグルメ
- 31 数字でみる関学
新書・文庫 貸し出しランキング
- 32 世界の街角から
ドイツ 入山 竜之介さん
- 33 Libraring
「Books on Japan」コーナーを
リニューアルしました！
- 34 聖書に聞く
院長 舟木 譲

※ 設置構想中 2021年4月に理学部と工学部、生命環境学部、建築学部を新設します。新設の学部の名称は仮称です。学部の名称や概要等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

院長とたどる!

関西学院130年の歴史

2019年9月28日、関西学院は創立130年を迎えました。今では8キャンパスに2万9,000人超の在校生を擁する総合学園となりましたが、始まりは教師5人と生徒19人の小さな学校でした。関西学院はいかにして誕生し、どのような歴史を重ねてきたのでしょうか。そして、目指すべき姿とは。舟木讓院長と共に歩みをたどりました。

神戸文学館となった現在の姿



1904年当時のブランチ・メモリアル・チャペル

ブランチ・メモリアル・チャペル

関西学院が初めて建築した、独立した形の礼拝堂。初期の建築物として唯一、創立の地・原田の森キャンパス(神戸市灘区)に現存しています。神戸大空襲で屋根が抜け落ちて以降そのままになっていましたが、1993年、耐震化を兼ねて修復。設計図が残っていないため昔の写真を参考に尖塔部分も完全に復元され、結果的に阪神・淡路大震災にも耐えることができました。現在は神戸文学館となっています。

関西学院の創立者で初代院長となるW.R.ランパス先生が所属するアメリカ・南メソジスト監督教会は1888年9月、神戸の地に男子校をつくることを決定しました。しかし、手元にお金があったわけではありません。ランパス先生はまず香港上海銀行神戸支店から無担保で2,000円の貸し付けを受け、ここ原田の森に1万円で校地を購入。翌年、銀行家トーマス・ブランチさんの献金により支払いを完了します。開校を決めてから、1889年9月の関西学院の誕生まで、わずか1年余り。その実行力には驚かされます。資金のあてもない中、キリスト教へのあつい祈りと信仰の下に設立されたことは、関西学院の大きな特徴です。上ヶ原に移転するまで約40年間、キャンパスを置いた原田の森。関西学院の歴史は、ここを原点に紡がれていくのです。

県外から関西学院大学に入り、今は兵庫県に住んでいますが、来たことはありませんでした。このチャペルでかつて礼拝が行われていたのですね。名前は、資金援助してくれたというトーマスさんにちなんで付けられたのでしょうか。



ちば ゆきえ
千葉 由紀恵さん
教育学部3年生

中学、高校とキリスト教主義の学校に通い、奏楽を担当。大学でも1年生からチャペルオルガニストをしている。

キャンパスツアーで高校生や保護者を案内しているので、西宮上ヶ原キャンパスのことはある程度分かります。でも、創立当初についてはあまり知りませんし、もちろん原田の森も初めて。実は神戸に来たのが生まれて2回目なんです。



西宮上ヶ原キャンパス「これが関学」
西宮聖和キャンパス「これも関学」
神戸三田キャンパス「これぞ関学」



かんばら ちと ゆき
神原 基透さん
社会学部3年生

広報室公認高校生向けTwitter「これが関学」(@kwitter_gahara)のメンバー。オープンキャンパスの運営に携わる「KG CLUB」でも活動している。

院長が案内
発祥の地へGO!

ふな き じょう
舟木 讓
第17代関西学院院長
経済学部教授(宗教主事)



神戸で出会う 関西学院の足跡。

ランバス先生は着任2日後には建物の2階に読書館を設け、夜間、英語や西洋の学問を学ぶ場として開放しました。現在の関西学院の形は、この一般の家での小さな活動から始まりました。さらに翌年には、活動に賛同したミズーリ州のバルモア牧師から毎年100ドルの資金援助とたくさんの書籍の提供がなされたことで、読書館を「バルモア学院」と命名、昼間学校を開設しました。

こんな街の真ん中のおしゃれな場所に、関西学院の名残があることに驚きます。

ここを始まりに、ランバス院長をはじめ多くの人の強い思い、折りがつながって今の関西学院や私たちがあるのです。



A 旧居留地47番

1886年7月、ランバスの両親や妹たちが前任地の中国から神戸に到着し、神戸外国人居留地のこの場所に住みました。11月には、ランバスが南メソヂスト監督教会日本伝道総理として一家4人で来日同居。ここから、広く西日本へのキリスト教伝道および教育活動をスタートしました。現在の丸大神戸店の東側で、跡地には日本毛織株式会社のビルが立っています。



バルモア病院の向かい側あたりに、読書館から発展したバルモア学院が立っていました。現在はJR神戸駅近くに移転しています。



創立125周年を記念して関西学院が作成したプレートも

LEGACY6 関西学院のレガシー6

東京庵

3



「トンキンアン」や「トンキン」の愛称で親しまれ、学生会館新館1階でボリューム満点の定食をリーズナブルに提供する体育会の学生を中心に人気の店。もともとは原田の森キャンパスの近くに店舗を構え、学生の胃袋を満たしてきました。上ヶ原移転に伴い一緒に移ってきたという、関西学院とともに歴史を刻むありがたいお店です。

ハミル館

2



関西学院に現存する校舎では最古の建築物。原田の森キャンパス時代の1918年に建てられ、唯一、上ヶ原に移築されました。日曜学校教師養成所として開設され、23年には2階に心理学研究室が設置されて日本私学初の心理学実験室が誕生。2003年に改修され、今も総合心理科学科の心理科学研究室として使用されています。

大学院1号館前の石門

1



上ヶ原に移転後、原田の森に残された正門は、神戸市の都市計画路線の工事実施に当たって取り壊される予定でした。しかし、同窓生たちの献金によって1930年に高等商業学部の門として移設され、現在も現役で活躍しています。当時の姿は、27号「関学カプセル」で。

特集

世界市民を育む、
学びがある。



フランスのケレン社製で、程よい響さと優しい音色が特長!

立派なパイプオルガンですね。一度弾いてみたいです。

B 神戸栄光教会

1886年、ランバスが日本で初めてつくった教会で、自身が初代牧師を務めました。当時は「南美以教会」という名称で神戸外国人居留地47番にあり、1923年に現在地へ。95年の阪神・淡路大震災で全壊しましたが、2004年、新たな赤れんがの会堂が再建されました。



教会内を案内してくださった神戸栄光教会牧師の野田和人さんと

ランバス先生が帰国すると、父親のJ.W.ランバス氏が2代牧師になりました。関西学院中学部(旧制中学)出身で医師として活躍された日野原重明先生のお父さんも、こちらの教会の牧師を務められ、その時代に赤れんがの会堂が建てられました。

C 原田の森キャンパス

関西学院発祥の地。かつては緑の芝生の中に赤れんがの校舎が点在する美しいキャンパスが広がっていました。跡地には現在、神戸市立王子動物園や横尾忠則現代美術館などがあります。



石堀には、関西学院発祥の地であることを示す文字



Twitter「これが関学」掲載用に一枚!皆さん、ぜひ見てくださいね。

社会人の先輩と話す、「Mastery for Service」の精神を今も大事にしている」と皆さん言われ、昔から今まで、関西学院に関わる一人ひとりがスクールモットーの精神をつないでいるんだなと感じます。私もその一員でありたいです。キャンパスツアーで説明するための引き出しが、今日一日で随分増えました!

礼拝堂は正面にバラ窓があり、そこから差し込む光が堂内を照らしました。原田の森の一日は礼拝から始まり、当初は宣教師が、その後は生徒がオルガンを弾いたそうです。チャペルオルガニストは創立当初から変わらぬ重要な役割なのです。

チャペルオルガニストとして、関西学院の根幹ともいえる祈りの時に携われることに誇りと責任を感じます。参加者が心をつにし、またそれぞれが心落ち着ける時間になるよう奏楽したいです。そして、関西学院をつくり上げてきた人たちの思い、祈りを周りの仲間や次の世代のオルガニストに伝えていければと思います。



吉岡美国第2代院長による「敬神愛人」、ランバス院長やC.J.L.ベーツ第4代院長のサインなどが刻まれた石碑が立つ一角。創立記念日などに教職員が集まり、礼拝を行っていた時代もあったそう

時計台前のヒマラヤ杉

6



大学紛争の嵐の中、関西学院のシンボルともいべきヒマラヤ杉が全学共闘会議派の学生に切り倒されました。3年ぶりに卒業式が執り行われた1970年3月28日、小寺武四郎学長と卒業生は切られた木の跡に再びヒマラヤ杉を植樹。時計台を背景にすくすくと成長し、緑美しい姿で学生たちを見守っています。

石製エンブレムの破片

5



太平洋戦争下、時計台に掲げられていたエンブレムが取り壊されました。作業を見ていた商経学部の学生は、その破片を二つ、洗濯物に包みリユックに忍ばせて故郷の鳥取に持ち帰りました。1989年に遺族から返還され、戦争を繰り返さず、学問への弾圧を許さない決意の品として学院史編集室に保管されています。

旧院長室

4



西宮上ヶ原キャンパス開設時、C.J.L.ベーツ第4代院長の執務室として総務館2階に設けられ、山内一郎第13代院長まで10人に使用されました。ベーツ院長が描いた水彩画、愛用のデスクなどが配され、西の窓からは、甲山を背景に時計台と中央芝生、行き交う学生たちという、歴代院長が眺めたであろう景色が広がります。

私塾から総合学園へ、 幾多の危機を乗り越え、 建学の精神をつなぐ。

関西学院創立者
W.R.ランバス



今年で
120周年を
迎えました！

グリークラブ

英語会(英語研究部E.S.S.の前身)で四部合唱による“Old Kwansei”が披露される前年の1899年、日本最古の男声合唱団が誕生。吉岡美國第2代院長により「関西学院グリークラブ」と名付けられました。グリークラブには、後に校歌を作曲した山田耕筈さんも所属していました。

1900

最初の校歌
“Old Kwansei”が誕生

旧制中学部校旗



1904

スクールカラー(赤白)を制定



関西学院の最初の校舎

1889

神戸市東郊原田の森に
W.R.ランバスが
関西学院(神学部、普通学部)を創立

1890



W.R.ランバスと
その家族

1886

米国・南メソヂスト監督教会が
日本伝道を開始
(ランバス一家が来日)

1908

神学部が
専門学校令による
認可を受け、
私立関西学院神学校に



1894

校章クレセントを制定

生徒が「弦月・三日月」を、教師が「K.G.」の文字を提案。三日月の中に文字を入れたデザインが考案されました。月が太陽の光を受けて輝くように、私たちが神の恵みを受けて自らを輝かせ続ける存在であり、新月がやがて満月になるように、日々進歩と成長の過程にあることを意味しています。

校名「関西学院」

ランバス院長と吉岡美國第2代院長が相談して命名。「関」は箱根の関所を表し、その西にある関西として、「西日本の指導者ともなる」との意味が込められています。また、当時のミッションスクールの名称は「○○英和(女)学校」が一般的でしたが、その伝統を破り「学院」という斬新な言葉に。“Kwansei”の読み方はランバス先生が積極的に主張、「クワンセイ」という発音は英語教師である吉岡先生が表記通りの発音にこだわったことがうかがえます。

原田の森キャンパス時代の
関西学院全景(1917年)



院長が解説

山あり谷ありの130年

特集

世界市民を育む、
学びがある。

関西学院
第一の危機！

文部省訓令第12号にも
キリスト教主義を貫き生徒が激減



18 99年、公的教育機関における宗教教育を禁じる文部省（現文部科学省）訓令第12号が發布されます。これは、聖書と礼拝を放棄しなければ、徴兵猶予や卒業生に対する上級学校への入学資格などの特典を与えないというものでした。他校が神学校を閉じるなど教育内容の転換を図る中、吉岡美国第2代院長は「聖書と礼拝なくして学院なし。特典便宜何ものぞ。」という名言とともにキリスト教主義を貫かれます。しかし、特典がなくなると入学者が激減し、卒業の前年に転校する生徒も増え、1909年にはとうとう卒業生ゼロという存続の危機に瀕しました。

東京方面で活動するカナダ・メソヂスト教会に事態を相談したところ、訓令により東京の牧師養成機関を失った同教会が経営参加することに。これを機に、関西学院の性格が大きく変わります。私塾を脱し、キリスト教主義教育により社会で活躍するビジネスパーソンを育成するという目的が一層明確になり、その使命を担って来られたのが後の第4代院長・初代学長C.J.L.ベーツ先生でした。

1934

大学法文学部、
商経学部を開設

1910

カナダ・メソヂスト教会が
学院経営に参加

甲山を背景に時計台と正門(1934年)



1932

関西学院大学(予科)
開設

1921

高等学部が
文学部と高等商業学部

1915

普通科(部)を
中学部に改称認可

1930

1920

1910

1935

高等商業学校を設立

1933

校歌「空の翼」を発表

中学部出身の山田耕筈さんが作曲を無料で引き受け、作詞者には友人で詩人の北原白秋さんを推薦しました。この年の6月27日、関西学院を訪れた二人は盛大な歓迎を受け、作詞のためキャンパスを歩く北原白秋さんの目にとまったのが4年前に植えられたポプラの木でした。9月18日に中央講堂で新校歌「空の翼」が発表され、山田耕筈さん自ら歌唱指導をしました。歌詞には「ポプラは羽ばたく」という一節がありました。

1929

上ヶ原にキャンパス移転



今年は
キャンパス移転
90周年！

キャンパス移転と大学昇格

1918年の新大学令により、国に任せられていた高等教育が地方自治体や私立学校にも認められると、関西学院でも大学昇格運動が活発化しました。しかし、高等教育機関になるには60万円の供託金が必要で、資金調達に行き詰まり中断。同じ頃、手狭になった原田の森キャンパスの移転話が浮上し、これが打開策となりました。結局、阪神急行電鉄（現阪急阪神ホールディングス株式会社）から沿線の上ヶ原の土地7万坪を55万円で購入し、代わりに原田の森の校地2万6,700坪を320万円で譲渡して差益を供託金や校舎建築等に充てることに。新キャンパス移転完了後の31年1月にはベーツ第4代院長が渡米、経営母体の米国とカナダの連合教育委員会にも大学昇格が承認されました。

1912

高等学部(文科、商科)開設
C.J.L.ベーツが高等学部のモットー
"Mastery for Service"を提唱



第4代院長・
初代学長
C.J.L.ベーツ

"Mastery for Service"
Oct. 14, 1939
C.J.L. Beets

ベーツ院長自筆の校訓

新校歌「空の翼」発表会(1933年9月18日)。
中央は山田耕筈さん



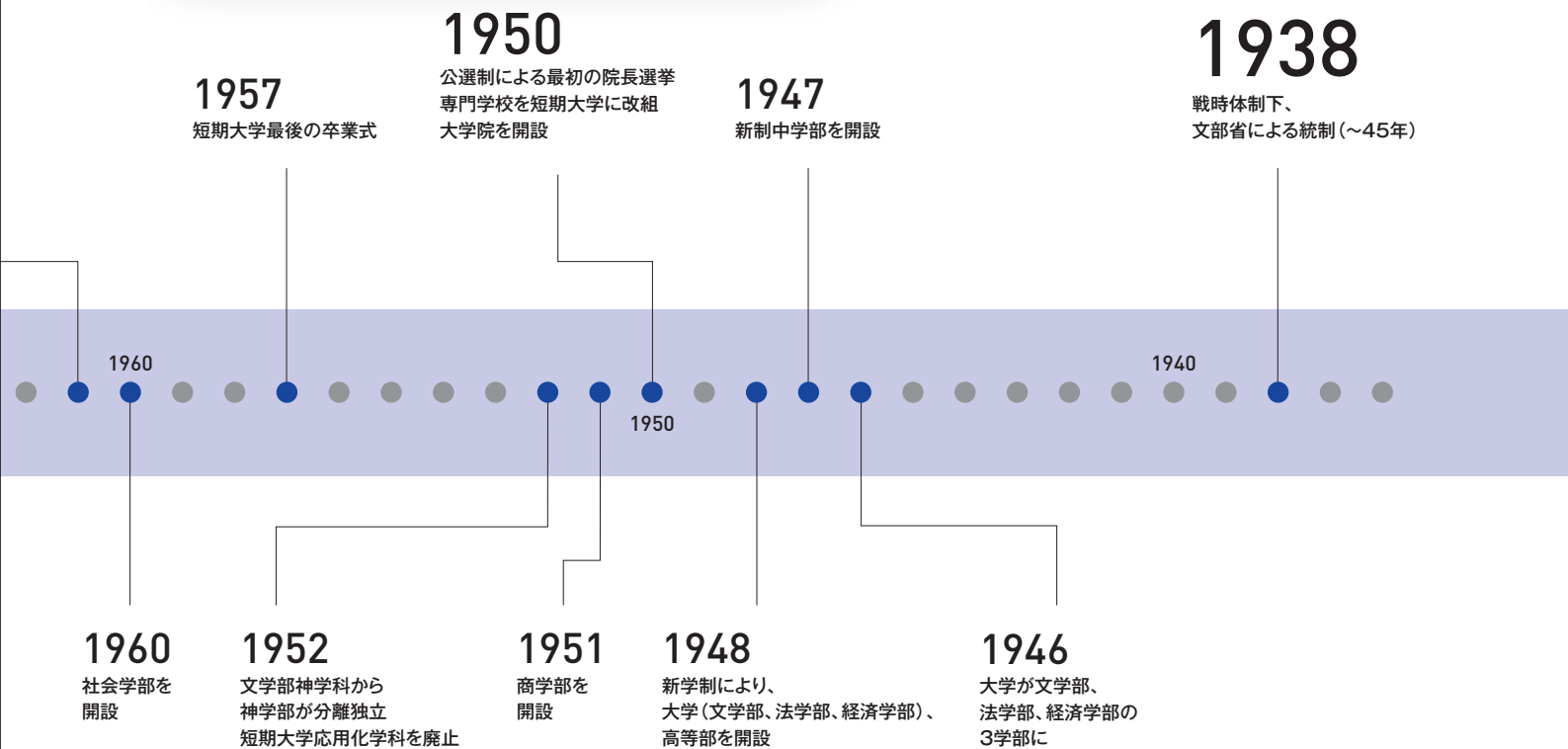
**関西学院
第二の危機!**

第2次世界大戦により
宣教師全員が帰国し神学部も閉鎖

アメリカやカナダの教会と関係が深く、キリスト教主義教育を建学の精神とする関西学院にとっては厳しい時代でした。時計台からも、中央講堂のステージからも“Mastery for Service”の文字が姿を消しました。「空の翼」も歌詞に“Mastery for Service”と入っているため歌えなくなり、山田耕筈さん作曲、関西学院出身で牧師の由木康さん作詞の「緑濃き甲山(かぶと)」という日本語のみの校歌が生まれました。また、1940年にはベーツ第4代院長が辞任され、翌年3月末までに全宣教師が関西学院を去って本国に帰られます。学生会は解散して報国団となり、校舎の一部は海軍に貸与、43年には神学部が閉鎖され日本西部神学校に吸収されました。



関西学院報国団結団式／学生会解散宣言(1941年)



関西学院
第三の危機！

学費値上げに端を発した大学紛争
全学封鎖により休校へ

関西学院における紛争のきっかけは学費値上げでした。1968年12月、全学共闘会議(全共闘)が学費値上げの白紙撤回など6項目の要求を院長に提出し、その後の対話が不調に終わると全学封鎖状態になりました。院長、学長は辞任し、69年3月に学長代行に就任した小寺武四郎・経済学部教授は、自宅待機中の全ての学生、教職員に「廃校か否か」のアンケートを行います。回収総数6,825人のうち、廃校92人、大多数が存続、再生を望むという回答を基に5月、「関西学院大学改革に関する学長代行提案」を発表。約1カ月後に開かれた改革結集集会において、満場の拍手をもって支持されました。

この3度目の危機では、大学の在り方そのものが問われました。関西学院の根幹であるキリスト教主義をも含め真摯に検証した内容が小寺学長代行提案で、ほとんどの構成員が了解したことで新たな歩みが始まりました。学生、教員、職員と役割の違いはあっても、一人ひとりの尊厳が大切にされ、人格的な交わりの中で組織を構成していく。それを体現しているのが関西学院であり協同社会なのだということが再確認されたといえます。



大学紛争中、ゲバラの肖像が掲げられた時計台



1961

理学部(物理学科、化学科)を開設

1989

創立100周年

1980

1970

2019年の今年は
17勝17敗3分けて、
史上初の引き分けに

1978

第1回総合関関戦を開催

関西大学との試合は「関関戦」と呼ばれ、各競技において実施されてきました。それを統一して行おうと1978年11月29、30の両日、関西大学で第1回を開催し、関西学院大学の8勝15敗3分けという結果に。麻疹で中止となった2007年を除き、毎年続けられています。

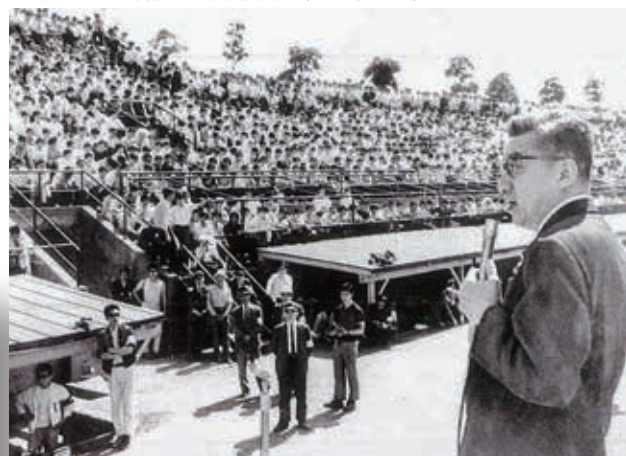


1967-69

大学紛争



王子陸上競技場で開催された改革結集集会(1969年6月9日)



1995

阪神・淡路大震災発生

関西学院では学生15人、理事1人、現・元教職員7人が犠牲に。建物の倒壊は免れたものの、物的被害総額は10億3,000万円に上り、施設・設備の復旧には3億7,000万円を要しました。そんな中、「今こそあなたの“Mastery for Service”を」の掛け声の下、2,500人以上の学生がボランティア活動に参加。この志から任意団体「ヒューマンサービスセンター」が誕生、現在はボランティア活動支援センター「ヒューマン・サービス支援室」へと受け継がれ、全国の自然災害被災地で支援活動を展開しています。

震災後の対応を伝える新聞記事と報告書



倒壊した大学図書館の書架



大学のグラウンドで支援物資を配布するボランティア



神戸三田キャンパスが誕生。総合政策学部を開設

1970年代になると、西宮上ヶ原キャンパスだけでは面積が不十分との指摘を文部省（現文部科学省）から受けるように。89年、兵庫県が開発を進めていた北摂三田ニュータウン西地区に土地10万6,000坪を購入し、1995年4月に8番目の学部として総合政策学部が誕生しました。2001年には理学部も移転し、翌春、理工学部となりました。



「ようこそ関西学院」の歓迎マスクを付けた50台のバスが1カ月間、三田市内外を走行しました。

2010

学校法人
千里国際学園と合併
国際学部を開設

2007

東京丸の内
キャンパスを開設

2010

2000

1990

2009

西宮聖和キャンパスに
教育学部を開設



2005

専門職大学院
経営戦略研究科を
開設

2004

専門職大学院司法研究科
(ロースクール)を開設

2000

K.G.ハブスクエア大阪
(現大阪梅田キャンパス)を開設

2002

理学部を理工学部に
名称変更

2001

言語コミュニケーション文化研究科を開設
理学部が神戸三田キャンパスに移転

2008

人間福祉学部を開設
初等部を開設

聖和大学との合併認可

聖和大学との法人合併は2006年6月から検討が始まり、08年12月24日付で認可され、翌年4月に教育学部が開設されました。合併のきっかけは、聖和大学の前身の一つであるランパス記念伝道女学校がランパス院長の母、M.I.ランパス氏により創立されたことでした。



特集

世界市民を育む、
学びがある。



舟木院長に聞く

関西学院の130年を振り返って

牧師を養成する神学部と、キリスト教主義に基づく全人教育を行う普通学部、建学の理念である二つの要素を130年間失わず、各時代にふさわしい形で紡いできました。理念を体感するための礼拝の時間を幼稚園から大学まで設け、キリスト教学においては自校教育を施すなど、具体的な形で教育活動を展開している日本でもまれな学校です。

今の関西学院が目指すところは

総合学園としての強みを生かすことです。非常に多様性を持つ学校になったことで、さまざまな違いに出会い、同質の中ではあり得ないような新たな発展や成長が期待できます。学生や教職員が多様性を味わいながら、自らの内に眠っている“賜物”に目覚め、いろいろな形で耕していく。そして、それを他者と共に社会を豊かにするために用いていく。ベーツ第4代院長がおっしゃった“self-culture”と“self-sacrifice”ですね。関西学院には、そのような機会がたくさん与えられています。

そのための取り組みとは

多様性がありすぎるが故に、キャンパスや学部、学校を越えた出会いが少ないのが現状です。出会いの場、すなわち多様性を味わえる機会をうまく準備する必要性を感じています。不要な壁や垣根をどのような形で取り除き、よき交わりや出会いを果たしていくかを考え、関西学院のアイデンティティーを全構成員で共有することが喫緊の課題です。

学生にメッセージを

関西学院という場で、今、同じ時代を生きていることは、ある意味で奇跡です。それを必然と考え、130年の歴史や受け継がれてきた価値観を理解し、周りへ発信することが関西学院の一員としてあるべき姿ではないでしょうか。また、「私はこういうものだ」と自分で自分の答えを勝手に決めないでください。限界を設けず、答えはいつでも変えられるという希望と自らに対する自信を持って、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。

総合学園として歩み続ける関西学院の8キャンパス

- ▶西宮上ヶ原キャンパス【兵庫県西宮市】
神学部、文学部、社会学部、法学部、経済学部、商学部、人間福祉学部、国際学部
言語コミュニケーション文化研究科、経営戦略研究科、関西学院高等部、関西学院中学部
- ▶西宮聖和キャンパス【兵庫県西宮市】
教育学部、聖和短期大学、関西学院幼稚園
- ▶神戸三田キャンパス【兵庫県三田市】
総合政策学部、理工学部
- ▶宝塚キャンパス【兵庫県宝塚市】
関西学院初等部
- ▶千里国際キャンパス【大阪府箕面市】
関西学院千里国際中等部・高等部、関西学院大阪インターナショナルスクール
- ▶西宮北口キャンパス【兵庫県西宮市】
司法研究科、文学部心理科学実践センター、関西学院クレセントスクール
- ▶大阪梅田キャンパス【大阪市北区】
- ▶東京丸の内キャンパス【東京都千代田区】



2013

神戸三田キャンパスに
アカデミックcommonsを設置

2012

実践型“世界市民”育成プログラム
(平成24年度文部科学省
「国際化拠点整備事業」補助金)採択

2014

大学院国際学研究科を設置

2018

創立150周年となる
2039年を見据えた将来構想
「Kwansei Grand Challenge 2039」を策定

2017

国連・外交プログラム/
国連・外交コースを開設



2020

2019

西宮北口キャンパスを開設(専門職大学院司法研究科移転)

Kwansei コンピテンシーを策定

「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成に向け、全ての学生が卒業時に共通して身に付けるべき知識、能力、資質を「Kwansei コンピテンシー」として定めました。「幅広い知識・深い専門性」「多様性への理解」「論理的な思考力」「主体的に行動する力」「生涯にわたって学び続ける力」「豊かな人間関係を築く力」「対立する価値を調整する力」「困難を乗り越える粘り強さ」「よりよい社会に変革する情熱」「誠実さと品位」の10項目で、幼稚園から大学・大学院までの教育を通じて段階的に身に付け、高めていくことを目指します。

2011

Cross-Cultural College
(平成23年度文部科学省
「大学の世界展開力強化事業」)採択

2021

神戸三田キャンパスに理系4学部を開設(設置構想中)

2021年度から、理学部、工学部、生命環境学部、建築学部を新設し、総合政策学部を合わせた5学部体制に生まれ変わります。新たなキャンパスコンセプトは“Be a Borderless Innovator(境界を越える革新者たれ)”。これは、ベーツ第4代院長が移転時の西宮上ヶ原キャンパスを評した“We have no fence”という言葉にも通じるものです。

※新設の学部の名称は仮称です。学部の名称や概要等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

映像制作やデザインをビジネスに 地域の魅力発信や課題解決に力を発揮

「信頼できる仲間と目標を追い掛けたい」。諸富さんの思いに、神戸三田キャンパスのゼミやサークルで共に活動する3人が応じた。学内外の団体等で代表を務めた「つわもの」ばかり。2018年12月、「スタジオMOVEDOOR」の扉が開いた。

しかし、世界を視野に入れた観光関係のビジネスモデルは約3カ月で頓挫する。失意の中、「自分たちができることで、目の前の人に喜んでもらおう」と動画やWebサイト、チラシ等の作成へと軌道修正。「成長意欲の塊」三崎龍人さんは動画クリエイター&エンジニア、「冷静沈着」な松本涼太さんは動画クリエイター&営業、「ぎゅちりした性格」の高橋圭司さんはデザイナー、そして「コミュニケーション上手」でリーダーの諸富さんは営業&広報PRと、それぞれ得意分野で実績作りに奔走した。

クライアントと真摯に向き合い提案を重ねる姿勢は、三田市の求人課題を解決するメディア運営、ドレッシングの商品企画、子どもの貧困支援を訴える「BE KOBEMILIAI PROJECT」のプロモーション動画制作など約20件の受注につながった。口コやチラシの依頼も増えている。

普段は個人や担当プロジェクトごとに作業をし、週2回、全員集合して進捗状況や情報を共有する。意見の衝突はあっても「気心も知れ理解し合っているので、人格否定にはならないし、引きずらない。落ち着くべきところに落ち着きます」という。

三田市の求人問題や丹波篠山市の空き家対策などに深い関心を寄せ、「地域の魅力発信や課題解決の力になりたい。手の届きそうな目標を一つひとつこなし、階段を上るように成長していければ」。法人化に向け勢いは止まらない。



三田市にある、古民家を活用したコワーキングスペースで打ち合わせ

01

Ryo Morotomi
諸富 稜さん
総合政策学部4年生





02

Azumi Misago
三砂 安純さん
総合政策学部3年生

震災の記憶を若者に伝えるため 被災写真や動画をデジタル・アーカイブに

2019年1月17日に神戸市の東遊園地で開かれた阪神・淡路大震災追悼行事「1・17のつどい」。三砂さんがリーダーを務める有志団体「KGS M-17のつどい」は、会場の一角で震災当時の建物や人の写真、アルバムなどを展示。「幼い少女に一枚一枚説明する父親の姿が印象的でした」と振り返る。

震災を風化させないため、総合政策学部メディア情報学科の学生が中心となって写真の収集や被災者へのインタビューを行い、電子データ化して保存・公開する活動に取り組む。きっかけは1年生の時、同つどい実行委員長で学部卒業生の藤本真一さんを紹介され、ずっと抱いていた「国内で活動するボランティアが動きやすいよう映像でサポートしたい」という思いと結び付いた。18年には1学年先輩の企画を手伝い、2回目の今年、初めてメンバー5人のアイデアを実行に移した。

燃え盛る炎の赤と、空の透明な青さが美しく、悲しい一枚。火が迫る倒壊家屋の下から聞こえる「助けて」の声に、なすすべもなかったと語る被災者の声。実行委員会ホームページや新聞記事での呼び掛け、自

分たちの取材を通じて集まった資料の数々に、「震災を経験していない私たち世代が、同世代やさらに下の世代に伝えていく難しさ、伝わらないもどかしさを感じています」と話す。20年の1月17日に向けては、いざというときの行動を促す小冊子を作成予定だ。一人暮らしの学生や小中学生など若い人が手元に置いて活用できるものを目指し、「他人事ではなく、身近なこととして危機感を持ってもらえたら」と話す。賛同者も一人増え、震災25年の節目へと活動は本格化している。



同じ思いで活動するメンバーと

1995.1.17kobe 検索 ※阪神・淡路大震災追悼行事「1・17のつどい」実行委員会は、写真や動画をデジタル・アーカイブとしてまとめ、Facebookで公開しています。



多様な子どもが参加できる
国語科教育の在り方を
マクロとミクロの両面から提案

国 語科教育とインクルーシブ教育をクロスさせ研究しています。

国語科は、子どもたちの話す、聞く、書く、読むといった言語行為の力を育てる教科です。「国の語」という名前が象徴するように、国語科は非常に政治的な教科でもあります。各地域のことばを「標準語」の文脈に回収しようとした過去もありますね。現在であれば、新学習指導要領に記載されている「我が国の言語文化に関する事項」が、外国につながるものある児童・生徒の在籍が多い中で、自国中心的な国語科授業が展開されかねないと危惧されています。国語科教育の実践者・研究者には、国語科で何をすべきか、という観点と同様に、国語科では何をすべきかが求められます。

を踏まえたカリキュラムを構想しようとしている点は共感できます。日本で言えば、障害や疾病、多様な性、外国とのつながり、経済的貧困、虐待といった多様な身体・生活背景のある子どもたちの実態を見つめ、全ての子どもたちが国語科の学びに参加できるための方向

ティ(少数派)でもあり、マジョリティ(多数派)でもある私の身体の社会的立場を踏まえて、インクルーシブな国語科教育の在り方を、マクロとミクロの両面から研究しています。マクロレベルでは、言語をめぐる教育はどうあるべきかについて、背景にある社会問題等



性を授業レベルで開発することが求められています。

一方、ユネスコが提唱するインクルーシブ教育とは、「多様性を包摂する学び」を意味します。この概念も決して万能なものではありませんが、子どもたちの実態を見つめようとしている点、そして、その実態

も指摘しつつ、国語科という教科の枠組みを問い直すことを提案しています。

ミクロレベルでは、目の前の45分や50分の国語科授業をどう実践すべきかについて、現場の先生方に向けて提案したり、先生方と一緒に実践したりしています。本年度は大阪府寝

屋川市内にある小学校において、先生方と授業研究に取り組んでいます。

「多様な子どもの包摂」を考えると、教育に携わる私たちの多くは、マイノリティに位置する子どもたちに対してマジョリティの考え方に同化するよう求めてしまいがちです。そうではなく、変わるべきは、あくまでマジョリティの側にあることが重要です。支援を要する子どもたちだけでなく、「支援を必要としない」とされている側にいる子どもたちこそ、育てていかなければいけません。同じように、私たち大人もまた、変わらなければいけません。

国語科の現状を打開する案として、私は絵本に可能性を見ています。絵本には、子どもの多様な実態や、多様性と向き合うための物語展開が多く、「思想的な深さ」としては教科書教材のはるか先を行っているからです。現在は、研究者の仲間とともに、教科書に掲載されていない絵本を活用した授業や教材づくりに取り組んでいます。

屋川市内にある小学校において、先生方と授業研究に取り組んでいます。

教育学部 原田 大介 准教授

Profile Daisuke Harada

広島大学学校教育学部卒業、同大学院教育学研究科博士課程後期課程修了。博士(教育学)。小学校教員、福岡女学院大学講師を経て、2015年4月から現職。2013年度全国大学国語教育学会優秀論文賞受賞。専門は、国語科教育、授業研究、インクルーシブ教育。

My life

子どもとのかわり

仕事や研究以外では、家事と子ども(1歳と5歳)との時間で1日が終わります。「プリンセスごっこ」をしたり、即興的なダンスをしたり、絵本の読み聞かせをしたり、読んでもらったり、といろいろです。子どもたちの成長だけでなく、私自身の成長も楽しんでます。



Go Global!

中期留学(マウント・アリソン大学)

荻野 友里さん(国際学部3年生) 留学先 ▶ カナダ



1 先生に日本製ホチキスをプレゼント 2 カナダの建国記念日を友人と祝う 3 卒業式でconversation partnerから花束をもらう

しているの、大使館で入国管理官として働きたいと以前から思っていました。帰国したら、移民セクターで働くか、大使館でニュージーランドと日本の関係づくりに関する仕事がしたいです。私が暮らすクライストチャーチには、以前多くの日本人が暮らしていましたが、地震を機に皆去っていきました。復興が進む今、日本人が再びニュージーランドに来てくれるように働き掛けたいです。

Q 好きな日本語を教えてください。

いろいろな状況で使うことができる「なるほど」が気に入っています。何かを理解した時に「なるほど」と言えますし、理解してなくても使えます(笑)。日本人学生が使っているのを初めて聞いた時は「なんて意味だろう」と思いました。彼らが意味を教えてくださいましたので、「なるほど」と言うと、「もう完璧に使えてるよ」と言ってくれました。



Q How will you take what you've learned here and apply it towards your future goals?

Since I'm doing a double degree for Law and Cultural Studies/Japanese, I've always wanted to be an immigration officer in an embassy. When I go back to NZ, I want to either work in the immigration sector or in the embassy helping NZ-Japan relations. In my city, Christchurch, we used to have a lot of Japanese people living there, but after the earthquake, many people left. Now Christchurch is rebuilding, so I want to help promote New Zealand and get Japanese people to come and visit.

Q How will you take what you've learned here at KGU and apply it towards your future goals?

なるほど。You can use it in every situation. If you get something you can say なるほど, and even if you don't, you can say なるほど (laughs). I didn't know this word before I came, so when I heard Japanese students use it for the first time, I was like "What does it mean?" They explained what it means, and I said なるほど, and they said "See, you can use it perfectly now."

カ ナダを選んだのは、先に経験した兄の勧めがあったのと、きれいといわれるカナダ国民の英語の発音を学びたいと思ったからです。5月1日から約3カ月半、さまざまな学部の23人が寮生活をしながら英語やカナダの歴史・文化を学びました。一人ずつ、与えられたテーマをレポートにまとめ、20分間プレゼンテーションするというハードな授業もあり、私の課題は「中絶」と「検閲」でした。日本語でも難しい話題について

英語で調べ、いかに分かりやすく伝えるか。みんなで励まし合い、苦しんだ分だけ自信につながりました。留学の成果の一つがカナダへの理解を深められたことです。多文化共生とは単に混ざり合うことだと思っていたのですが、カナダのモザイクという考え方が、つまり一つひとつ異なるピースが集まり互いに尊重しつつ、模倣を作っているという論は、とても新鮮でした。また英語の上達を日々感じました。英語しか使わない、LINE

も英語でやり取りするなどの細かいルールを全員で決め、実行した結果といえます。集団で留学することの良さを、生活でも学びでも生かし切ることができました。ゼミでジェンダーや人権について学んでおり、女性に関連する商品を選ぶ会社で英語を使う仕事に就くのが夢です。現地では、最前線で活躍する女性の姿を見たり、LGBTを応援するイベントに出合ったりと、たくさんの良い刺激を受けました。

複数人で留学したことがプラスに！ 英語力の向上を日々実感



My favorite KG



チャジーウィー (バネッサ)
CHA ZHI WEI (VANESSA) さん

カンタベリー大学 (University of Canterbury)
交換留学 (Exchange Student)
ニュージーランド (NEW ZEALAND)

優しいホストファミリー。
私の状況を理解し、
広い心で接してくれます。



Q 関西学院大学を選んだ理由は。

5年前に休暇で家族と関西に来たことがきっかけです。ホテルを探すのに迷ってしまい、近くにいた人に尋ねたら、現在地を親切に教えてくれて目的地まで連れて行っ

留学生の友人と
テーマパークで
(前列右がバネッサさん)



てくれようと思いました。日本の人にすっかりほれてしまいました。留学をしようと決めた時、関西学院大学は最初の選択肢でした。関西での生活を味わいたかったのと、関学が提供するプログラムの多さ、そして過去に関学で学んだ友人からの評判が良かったので決めました。

Q どこに滞在していますか。

伊丹市でホストファミリーと一緒に暮らしています。優しくて大好きな家族です。私が日本の環境に順応していけるように手助けしてくれますし、私の置かれている状況を理解し、広い心で接してくれます。いつも日本語で会話をしています。

Q 関西学院大学で学ぼうと考える留学生に伝えたいことは。

留学生としては、「値段に気を付けて」と伝えたいです。ニュージーランドと比べて物価、特に公共交通機関にかかるお金は高いです。日本での移動はほとんどが電車です。事前に電車のことや車内でのエチケットについて知っておくとよいと思います。関学生としては、情報のチェックを怠らないことが大切です。留学先では、友達をつくるのが難しかったり、文化の違いを感じたりすることがあると思いますが、オープンな心で経験をシェアしてください。日本人学生と日本語で話すことも大切です。きっと日本語上達の助けになります。

Q 関西学院大学での学びを今後どのように生かしていきますか。

法学と文化学(日本文化)の二つを専攻

Daily schedule on class days 1日のスケジュール

6:30	Wake up and get ready for school 起床、学校へ行く準備
7:40	Commute to KGU from Itami City 伊丹から学校へ移動
9:00	Attend morning classes 午前の授業
12:40	Eat lunch at BIG MAMA/BIG PAPA with Nihongo Partners 日本語パートナーズと食堂でランチ
13:30	Attend afternoon classes 午後の授業
18:20	Hang out with friends 友人と過ごす
19:30	Head back to host family's house, have dinner ホストファミリーの家へ、夕食
21:30	Do homework, relax, get ready for bed 宿題、リラックス、就寝の準備
23:30	Head to bed 就寝

Q Why did you choose to study at KGU?

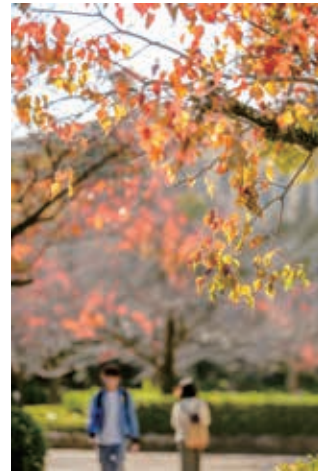
I came here on vacation with my family five years ago to Kansai, and my impression of Japan was that people are really nice. We got lost trying to find our hotel, and we asked someone on the road, and he was really nice and showed us where it was, and even tried to take our luggage and personally bring us there. I really fell in love with the people here. When I chose my exchange destination, KGU was my first choice because I really wanted to come back to Kansai and experience the life here. There are also a lot of programs that Kangaku offers, and when I heard from my other friends who did their study abroad at KGU, it sounded really fun, so I wanted to come here.

Q Where are you living now?

I'm staying with a host family in Itami City. My host family is really kind and I like them a lot. They helped me with adapting to Japan, and they're understanding of my situation, and very open-minded. We always speak in Japanese too.

Q What advice would you give friends who were thinking about coming to study at KGU?

As an exchange student in Japan, I would say that you should keep prices in mind. Stuff here is a lot more expensive compared to New Zealand, especially public transport. It's very different because we normally drive or take the bus, but in Japan, everything is by train. It can be quite confusing, so you should learn how the trains work here so be aware of train etiquette. As a KGU student, I would say to always check information so you don't miss out on things. Be as open as you can. Coming to a new country, it might be hard to make friends, and there might be cultural differences, but come with an open mind and share your experiences. Also, talk to the Japanese students, even if your Japanese isn't very good, because they will help you improve a lot. When I was in NZ, I think I wasn't proficient enough, but Japanese students at KGU have helped me so much.





関西学院の秋

自然災害に備えよう!

毎号テーマを変え、関西学院大学での学びや取り組み、研究成果などを座談会形式で紹介します。今回のテーマは「防災の継続と定着を考える」。自然災害が多発・激甚化する中、防災・減災対策の考え方や人道支援の在り方、来るべき災害に備えて大学に求められる危機管理体制や私たちがすべきことなどを話し合いました。

大学に求められる危機管理体制の時系列の行動計画を

井上 私は阪神・淡路大震災と

東日本大震災の両方を経験しており、前者の時は入試を控えた浪人生、後者の時には牧師と幼稚園の園長として岩手県の内陸部にいました。被災者体験や被災地を支援した経験をお話しし、先生方のご意見を伺えればと思



神学部
井上 智 助教

関西学院大学神学部卒業、大学院神学研究科博士課程後期課程単位取得退学。日詰教会主任担任教師、幼保連携型認定こども園ひかりの子園長などを経て、2016年より関西学院大学神学部、2019年より宗教センター宗教主事。専門はヘブライ語聖書神学、子ども。



総合政策学部
照本 清峰 教授

埼玉大学工学部卒業、東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了。人と防災未来センターなどを経て、2016年に関西学院大学総合政策学部准教授、2019年から現職。専門は減災システム、防災計画、災害復興、都市・地域計画、防災まちづくり。



法学部
赤星 聖 准教授

大阪大学法学部卒業、神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。日本学術振興会特別研究員(PD)を経て、2017年に関西学院大学法学部助教、2019年から現職。専門は国際関係論、グローバル・ガバナンス、国際制度。

います。まずは身近な所から、近年の自然災害に対する関西学院大学の防災対策や学生たちの意識についてどう考えていますか。

照本 自然災害など緊急事態が発生した時に被害を最小限に抑え、事業の復旧や継続を図るために事業継続計画があります。そうした危機管理について、大学としてどこまで考えているかという点です。例えば、阪神・淡路大震災は入試直前の時期に起こりました。このような大きなインパクトに対しては、入り口としての入学試験から出口である卒業

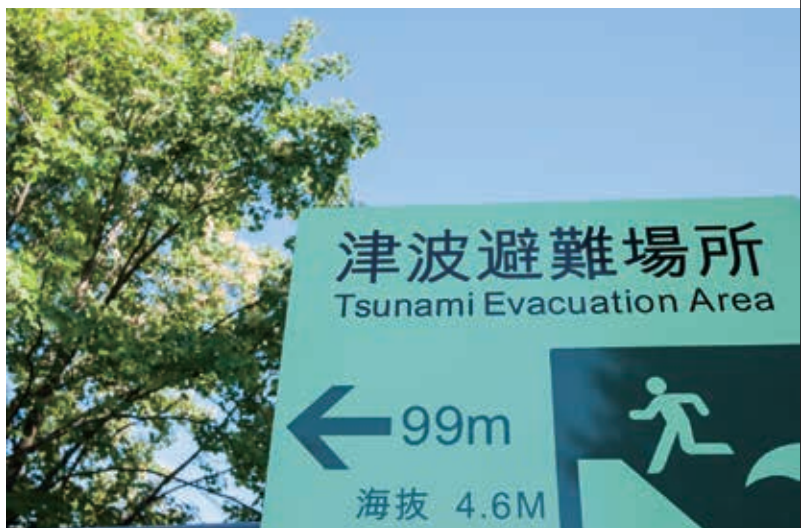
認定まで、発生時期と被害の性質ごとに対応態勢を考えておくべきだと思います。また、地震については構造物の対策が重要視されていますが、研究室の書棚や実験室の機材など散乱や飛散が考えられる内部の非構造物材の対策も必要です。

井上 私は阪神・淡路大震災により電車が止まり二次試験を受けられず、被災者向けの入試を受けましたが、バスなどを乗り継ぎ、入試の会場に行くまでに苦労したことを思い出します。
照本 最近、JR西日本が計画

運休を実施しています。タイムラインという時系列の防災計画に基づき、台風などの発生状況をあらかじめ想定し、10時間前にはこれを、5時間前には、1時間前には、と時系列に行動計画を設定します。事前告知しているのに、関西では電車を止めても混乱は少なくなっています。

井上 一昨年の大雨の時でしたか、大学側の休講の決定が遅れたため、大学に来たものの帰るに帰れなくなった学生に教室を開放したことがありました。タイムラインを定めておくと、学生の安

※1…タイムライン
災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況をあらかじめ想定し、共有した上で「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。



震災の教訓 何を伝えるのか なぜ伝えるべきなのか

全面などからも、大学の運営面
においてもいいですね。

赤星 私は阪神・淡路大震災を
直接に体験したわけではないで
すが、高速道路が倒れている光景
は小学校低学年の時の鮮明な記
憶として残っています。先日、ゼミ
生を神戸の「人と防災未来セン
ター」に連れて行ったのですが、み
んな阪神・淡路大震災の後に生

まれていました。震災経験のない
学生たちに、25年近くたっている
震災のことを伝える難しさを感じ
ました。震災の記憶や教訓を
どのように伝え、引き継いでいく
のかというのは一つのテーマであ
るかと思っています。

照本 近い将来、震災を知らな
い世代が次の世代に伝えていく
時代がやって来る中で、伝え方
について真剣に考えていく必要が
あります。何を伝えるべきなのか、
なぜ伝えるべきなのかを深く考
えなければいけません。大正時代
に起きた関東大震災の教訓には、
今の時代には合わないこともあれ
ば、「情報がまったく行き渡らな
かったために流言が広がり悲惨な
状況を招いた。情報を正しく広め
ることは重要」といった共通する
こともあります。阪神・淡路大震
災において核となる教訓は何なの
か、震災を知らない世代が考える
こと自体に意味があります。

赤星 情報をどうクリアに伝え
ていくのかは、これまで以上に重
要度を増しています。東日本大
震災が阪神・淡路大震災と最も
違う点は、情報のネットワークが
拡大していたことだと思います。
「Twitter」等では有益な情報が広ま
ることもあれば、関東大震災以

上にデマが広がる可能性もあり
ます。その場合、信頼できる情報
をどのように広げていくのかは非
常に重要なことです。

仙台防災枠組は 原形復旧の壁を超え 「より良い復興」へ

井上 東日本大震災で私が勤め
ていた園も被災し、補助を受けて
復興したのですが、復旧とは元
に戻すことなのですね。同じ金額
を使うのなら少しでも良く変え
たいと主張しても認められませ
んでした。2015年に採択され
た仙台防災枠組を見ると、優先
行動に「より良い復興」という項
目があり、当時と変わったのかな
と思っています。

赤星 「より良い復興」とは、ビ
ルド・バック・ベター (Build back
better)、災害の経験と教訓を取
り込み、そのコミュニティの災
害対応能力をより強化すること
です。同じお金をかけるのであ
れば、より良い設備をつくる方が
有効で効率的なのは当然です。
防災に関する国際的な指針も、
1994年の横浜、2005
年の兵庫、そして仙台と、徐々に
アップデートが進んでいます。

地域の再建について、原形復旧の
原則という壁が立ちはだかつて悔
しい思いをした人は官民問わず
たくさんいました。国際的な標
準となる枠組に採用されたこと
は非常に大きいです。また、防災
の先行投資という考え方が国際
的に認知される一つのきっかけに



※2…**仙台防災枠組**
2015年3月に宮城県仙台市で開催された「第
3回国連防災世界会議」で採択された、2015
年から30年までの防災行動に関する国際指
針。第1回は1994年に横浜市で開催。第2回は
2005年に神戸市で開催、2015年までの10
年間の国際指針「兵庫行動枠組」が採択された。

なったのも仙台防災枠組だと捉
えられます。施設等をつくる際に
防災対策を講じておいた方が、災
害後にかけるお金より費用対効
果がよいということです。

赤星 災害に関する対策は少し
ずつアップデートされていると感
じています。1994年のルワン
ダ虐殺後、回国から逃れた難民
が滞在する難民キャンプにおい

※3…**ルワンダ虐殺**
アフリカ東部のルワンダで1994年に、ツチ
族とフツ族の対立関係によって主に引き起
こされた被害者が50万人とも100万人と
もいわれる虐殺。この結果、大量の難民が
周辺諸国に流出して国際問題となった。

※4…人道支援
緊急事態またはその直後における人命救助、苦痛の軽減、人間の尊厳の維持および保護のための支援と定義されている。

※5…スフィアスタンダード
正式名称は「人道憲章と人道対応に関する最低基準」。人道危機においても人々の権利や尊厳を守るために必要とされる人道支援の「最低基準」が記されている。

て、NGOの支援の在り方に批判が寄せられました。このことをきっかけに、国際的な人道支援の最低基準を示したスフィアスタンダードが策定されました。日本では認知度がなかったのですが、少しずつ浸透してきていると感じています。近年、避難所での生活の質や人間の尊厳を担保していかなければいけないといった認識が徐々に高まってきています。

照本 日本における避難所は、阪神・淡路大震災時のイメージが先行し、「災害時にはこんなもの」と捉えられている傾向にあります。でも、体育館の固い床に毛布を敷いて寝ていたら、災害前は元気に歩いていた高齢者が数カ月間で歩行困難になったというケースもあれば、災害関連死も多数報告されています。女性への配慮や、きれいな水の提供、寝起きが楽な段ボールベッドの導入など、スフィアスタンダード以上の状態を満たす形にしていけないといけません。

**レジリエンスの
考え方を重視し
多様な意見を採用**

井上 仙台防災枠組の特徴について、もう少し詳しく教えてください。

赤星 仙台防災枠組では、レジリエンスという考え方が重視されたのも特徴です。災害が起きたときに、それをどうプラスの方向に転換していくのか、しなやかさや柔軟さというものが肝要だろうと考えています。ある途上国の沿岸地域では今でも家屋が竹など脆弱な材料で造られており、それは台風で被災したときに造り直しやすさからだと聞いたことがあります。災害が起きることを受け入れた上で、再興する際にどんな有効な手段を取ることができるところかというところですね。

照本 レジリエンスは、兵庫行動枠組の時から示されており、その後注目され、仙台防災枠組でも取り上げられました。レジリエンスとはイメージであったりしてなかなか形になりにくいですが、赤星先生がおっしゃった「しなやかさや復元性」という要素、考え方をきっちり形にしていければ、防災対策はより進んでいくのではないかと思います。

赤星 もう一点、仙台防災枠組では女性や子ども、高齢者、障がいのある人など災害において周縁に置かれがちな多様な人々の意見を聞き、取り入れていこうとしました。国際的なスタンダードや

枠組を作っていくプロセスにおいて、少し変化が見えている部分です。

**自然災害における
人道支援活動の
調整役OCHA**

井上 災害時、その後の復興においては、人道支援も大きな柱の一つです。赤星先生のご専門ですが、海外も含め、どのように展開されていますか。

赤星 自然災害に対する国際的な人道支援は、国連人道問題調整事務所(OCHA)が事務局となつて各国間、支援機関間の調整をする場合が多いです。現地政府が支援をさばけないような場合に問題が起きることが多く、2013年のフィリピン・ハイエン台風や今年3月のモザンビークのサイクロン被害などでも調整に入りました。

井上 東日本大震災でも支援に入ったのですか。

赤星 日本は防災に関するノウハウが比較的蓄積されているので、東日本大震災におけるOCHAの支援は限定的でした。職員数人が派遣され、被害状況や支援ニーズの把握、さらに、被災直後に物資等が無秩序に入ってきた時に日本政府の

意見を代弁する形で情報発信をサポートしました。日本との関わりで言えば、国連防災機関(UNDRR)もあります。代表が水鳥真美さんという日本人です。日本の防災の経験を伝えていくことが求められる役割だと考えると、日本が国際的なプレゼ



※6…国連人道問題調整事務所(OCHA)
自然災害や紛争などにより最も弱い立場に置かれている人々の生命と尊厳を守るのが目的。各国政府や他の国連機関、赤十字、国際NGO等と連携し、緊急・人道支援活動の具体的調整、必要な資源の動員、円滑かつ効果的に支援活動を進めるための情報管理等を担う。

ンスを高めていく場合に貢献できるのが防災や人道支援の分野なのだと思います。二つとも日本のはねは神戸にあるので知っていただきたいです。

**支援する側は
される側の負担を
常に意識すること**

井上 東日本大震災を経験して

※7…国連防災機関(UNDRR)
災害による被害・損失の減少、災害リスクの軽減を目指し、災害に強い国やコミュニティの構築が目的。国際防災協力の枠組み構築、調整のための触媒的役割を果たすとともに、多くのパートナー機関と各国の防災政策実施を支援している。



1週間くらい後、被災地に救援物資を持って入り、支援活動に取り組みました。ちょうど半年くらい経った時に、ある被災者の方が疲れた様子で「たくさんの人が支援に来てくれるのはうれしいけれど、海の津波の次に人の津波が来たような感じ。今日はこの人が来て、次はあの人に来て、そのたびに同じようなことをお話ししている」と話されました。支援の在り方というのも少し考えないといけない部分があるのかなと思うの

ですがいかがでしょうか。

赤星 フィリピンやインドネシアなど毎年のように被災し支援を受けている国は、ある程度ノウハウが引き継がれていますが、日本は海外から支援を受けた経験がほとんどありませんでした。東日本大震災の際に初めて国際的な支援を一気に受けたため、国も地方自治体も混乱が大きかったと指摘されています。そういうときに支援する側が考えないといけないのは、Do No Harmの原則、害を与えない支援です。スフィアスタンダード同様、ルワンダ難民支援の反省から再認識されたものです。良かれと思っただけの支援が受け手側にとどのような負担を掛けているのかを常に意識しておく必要があります。

照本 災害対応のガバナンスの体制について考えなければなりません。従来、行政機関を中心にトップダウン方式で行われてきたけれども、東日本大震災以降、NPOやNGO、ボランティア団体をパートナーとして、協働して対応していく認識が高まっています。そうすると、一部信頼できない団体が現れたり、メディアが取り上げた所ばかりに支援が偏ったりといった問題が発生し、

どの団体が信用できるのか、支援のヌケ、モレ、オチとムラはないかなどを見極め調整する必要が出てきた。そこで、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）などの組織が立ち上がり、活動しています。加えて、団体によって得意な支援分野や時期は異なるわけですから、災害直後だけではなく、復旧・復興過程を見据えた息の長いスパンで考えていくことも求められます。

**「津波でんでんこ」
だけではない
防災システム構築を**

井上 照本先生にぜひ伺いたいと思っていたのが、三陸地方に伝わる言葉「津波でんでんこ」についてです。津波が来たら、家族や周りの人に構わずすぐに高い所、安全な所に避難しなさいという教えで、実際に東日本でも実行して助かった人がかなりいたと聞きました。

照本 その通り行動して助かった人が多くいらっしゃいます。一方で、近所の人や世話になっっている人を助けに行つて一緒に助かった人もいますし、犠牲になった人もいます。これをどう見るのかというところが、事前に、「いざと

いうときは「津波でんでんこ」と話していても、実際に災害が起これば「助けなければ」という使命感に駆られて行動する人は多くはまずです。個人的には、「津波でんでんこ」以外ないとする考え方は、現代の防災の敗北だと考えます。情報通信機器が発達し、



車や設備、道具等もある今、「津波でんでんこ」だけでは言えません。地形だけではなく、「コミュニティ」の関係性や市街地の状況なども含めて、地域ごとにきめ細かく考えられることがあるはずです。その上で、助けに行くことも打ち切ることも考えなくてはなりません。打ち切る基準も、津波の到達予想時間などを考慮

※8…ソーシャルキャピタル
社会関係資本と訳され、社会
や地域における人々の信頼関
係や結び付きを表す概念。

して決められるだろうというこ
とです。

赤星 私は実家が熊本で、熊本
地震の際、父親が障がいのある人
の様子を見に行つて連絡が取れな
いという状況がありました。「津
波でんでんこ」は、個々人の置か
れている立場や状況によっては難
しい部分があるのかなと感じてい
ます。また、台風などの時に田ん
ぼなどを見に行つて亡くなった人
を自業自得だと非難するのは簡
単ですが、その人には行かなけれ
ばならない事情があったのだと考
えると、農家が多い、漁師が多いと
いった状況によって災害時の対応
はかなり違ってきます。地域やコ
ミュニティーなど細かいレベルにお
いて防災システムを構築していく
という照本先生のご意見に賛同
するところです。過疎化などによ
りコミュニティの維持が難しく
なつてはいますが、そこは技術や
情報を活用して補っていければい
いのではないのでしょうか。

るわけです。だからソーシャルキャ
ピタル、人と人とのつながりは大
事で、普段からそういう関係を築
いておかなければいけません。強い
つながりが一本あつても、それが
切れたら終わりです。弱いつなが
りでも複数持つておけば、誰かが
気付いてあげられます。そういう
社会や地域の仕組みをつくつてい
くことは、災害のためのみならず
大切です。

子どもへの 防災教育だけでなく 教員の役割が重要

井上 先生が書かれた、小学生
の津波に対する危険性の認識に
関する論文を興味深く読みまし
た。大きな揺れを感じた子ども
よりも、中くらいの揺れを感じた
子どもの方が、とくに避難しな
いとけないと気付く傾向にある
という調査結果が得られたという
ことですが、そのことから考えら
れる防災・減災対策はありますか。

ます。子どもたちへの防災教育だ
けではなく、教員がどう避難誘
導するかといった、避難対応を含
めた危機管理体制を構築してお
くことが求められます。

社会や地域で 求められる 防災対策に着目

井上 阪神・淡路大震災時、ス
ニーカーにズボン、リュックサックと
いう被災者ルックで大阪に行く
と、皆さんきれいな格好をして普
通に生活していました。その後
行つた岩手では、「阪神・淡路大
震災？」という人も多くいました。
東日本大震災でも、一切なくなつ
た沿岸部を走つて支援物資を届
け、盛岡に帰つてみれば通常通り
店が営業している。個人の意識の
差ですね。災害を覚え続けてお
くのは難しいですが、自然災害は
必ずまた起こるわけですから、赤
星先生のおっしゃった経験を引き
継ぐことや、照本先生が指摘さ
れた何を伝えていくのかという
意識を個人レベルで定着、継続さ
せるためにはどうすればいいので
しょうか。

防災策を促進しようとする意識
を感化するかについて「行政だけ
ではできないので個人で、地域で
やつてほしい」、「防災対策は地
域貢献につながるので取り組ん
でください」という二つのメッセー
ジを比較したところ、後者の方が
有効だとの結果が出ました。個
人が置かれている状況はさまざま
で一般論でくくることはできま
せん。それよりも、社会あるいは
自分の地域で求められている災
害対策、防災対策は何なのかに
着目してもらいたいというのが私
の意見です。

井上 防災教育の在り方として、
どのように考えていますか。

照本 小学生への防災教育で
は、まず地域を守るためにはど



うしたらいいのかというところから入って、そのために自分は何をしなければいけないのかを考える手法を採っています。小学生には地域の防災リーダーになれるような能力を身に付けてもらいたいと考えています。また大学生の場合は、社会でどのような防災の枠組みが求められているのか、何を必要としているのかというところをまず考え、その中で自分は何ができるのか考えてほしいと思います。

赤星 防災の経験というのは、日本が国際的に何らかを打ち出すことができる分野の一つです。そう考えたときに、「Mastery for Service」をモットーとし、グローバルに活躍する人を送り出すことを使命としている関西学院大学としては、まずはこの身近な防災の分野から取り組んでいくということも考えられると思います。

支援の形や 復旧・復興の進め方を 事前に考える

井上 ゲリラ豪雨など自然災害はますます激甚化し、近い将来には南海トラフ巨大地震の発生も予測されています。最後に、今後に備えて私たちが考えるべきこと

と、やっておくべきことをお話してください。

赤星 災害が起こった場合に、職場や学校など自分がいる場所でどのような支援の形をつくっていくのか、普段からある程度用意しておくことが大切です。その上で、被災者の生命と尊厳をどう守っていくのかということですね。日本の社会は良くも悪くも同質性や協調性を大切にしている社会であり、だからこそその避難所の運営が成り立っているとも言えます。支援をする側は、「このくらい我慢すべき」「支援を受けられるだけいいじゃないか」と考えるのではなく、被災した人たちにもこれまでの生活があり、多様な考え方があることを意識し、一人の人間として尊重してほしい。また、支援を受ける方も、自分が抱えている問題や感じた違和感など思っていることを表明する。そういう関係性を意識しておけば、どこで支援が必要になったとしても対応できるのではないだろうか。

井上 被災者の側に立ってみると、「被災者なのだから我慢すればいいでしょ」みたいな無言のプレッシャーを感じることがあります。でも、人間としての尊厳を

守るためには、被災者から声を上げるというのはその通りだと思います。

照本 災害後、どういふふうに復旧・復興を進めていくべきなのか、地域で事前に考えておいてほしいです。二つ目の理由として、実際に災害が発生した場合にスムーズに事を進められます。二つ目には、考える過程で、防災の機能でこれだけは守っていかなければならないものは何なのかなど重要なところが見えてきます。三つ目には、その地域が成り立っている基盤、地域のアイデンティティというものも話し合いの中で明らかになってきます。事前の防災対策として、大変効果があると考えています。

井上 起こってから考えるのではなく、起こったときのために前もって準備しておくというのは、地域に限らず、個人でも会社でも、もちろん大学でも重要なことですね。また、防災の取り組みにおいても、災害後の支援活動や復旧・復興活動においても、多様性というのが一つの鍵なのかなと感じました。今日お話しいただいたことを取り掛かりに、それぞれが行動を起こしていければと思います。

在学生 対象

関西学院大学緊急Twitterアカウント

関西学院大学では、2019年度より警報発令、自然災害、交通機関の運行停止、遅延等で、当日急遽、授業・定期試験等の開始時間変更や休講・中止が発生した場合や、建物・施設が閉館・開館した場合、Twitter社の提供するTwitterを利用し、学生の皆さんに告知を行います。

※司法研究科はホームページ、経営戦略研究科はパブリックフォルダ・教学Webサービスで連絡します。



アカウント名: @KG_emginfo

←詳細はこちら





文化総部 マンドリンクラブ

創部 / 1917年

部員 / 18人

部長 / 則皮^{のりかわ} 早乃香

練習場所 / 西宮上ヶ原キャンパス 新学生会館3階

音楽練習場6

初心者も一緒に
美しい音色を奏でる

1917年の創部から今年で103年目と、1世紀以上の歴史を有するマンドリンクラブ。部員数は4年生3人、3年生7人、1年生8人の総勢18人。主な目標を11月の定期演奏会に据え、日々活動しています。

西宮上ヶ原キャンパスの音楽練習場6を活動拠点に、授業がない日は昼から授業がある日は放課後にマンドリンの美しい音色を奏でています。少人数ながら創意工夫を凝らして、さまざまな練習を行います。曲の中には難しいものもあり、人数が少ないためソロで演奏するパートが多くありますが、それも楽しみながら取り組んでいます。

マンドリンの魅力は何といっても部員

KG CLUB by KGB

昼休みの放送や番組制作などを行っている関西学院大学唯一の放送団体・KGB総部放送局が、多彩な課外活動を紹介します！

KGBの活動は

Twitter→<https://twitter.com/KGBbroadcast>



Pick up

マンドリン

セルロイドなどの爪ではじいて鳴らす弦楽器で、胴は半球形で糸は2本ずつ4対あります。大きさは非常にコンパクト。背面はギターなどとは異なり少し膨らんでいます。同属の楽器は紀元前4世紀には既に存在していました。



全員で音を奏でていくことです。定期演奏会では一人でも多くの部員が演奏に参加できるように、先輩の手厚いサポートの下、初心者部員もしっかりと目標を持って活動しています。そしてもう一つの魅力が「トレモロ」です。トレモロはイタリア語で「震える」意味で、音を伸ばすときに用いられる奏法です。この奏法により、マンドリンの魅力あふれる特徴的な音色を作り上げています。

部長の則皮早乃香さん(法学部3年生)は「サークルはゆるすぎて嫌だなあ、でも部活はきつすぎでいやだなあという方にお勧めです!」と話します。初心者でも安心して取り組むことができるマンドリン。大学で何か新しいことに挑戦したい人は、ぜひ門をたたいてみては。

夏休みの自由研究を発表 初等部の理科の授業で

初等部の児童たちが、夏休み後の理科の授業で、それぞれの興味を追った自由研究を発表しました。身近な人の手術をきっかけに「白内障」について調べたり、1学期の授業で学んだメダカの誕生から興味を持った自宅の金魚について調べたりなど、研究内容はさまざまでした。児童たちは、互いの研究発表を楽しみながら興味深く聞いていました。



高等部数理科学部と大学生が マレーシアで教員と教育博士にワークショップ

高等部数理科学部の生徒たち6人と総合政策学部と理工学部の学生2人が、マレーシアで現地の教員と教育博士12人を対象に、数学的発見のプロセスやノウハウを伝えるワークショップを8月22日(木)に開催しました。SEAMEO RECSAM(ASEANの理数教育センター)の依頼で2017年から始まり、今回が3回目。ワークショップは、卒業生の坂上正司さんの寄付により実現しました。



自分と向き合う5日間 中学部が青島キャンプを実施

中学部は7月から8月にかけて、関西学院が所有する岡山県瀬戸内市の無人島・青島において、4泊5日のキャンプを三つのグループに分かれて実施しました。50年以上続く伝統あるキャンプで、生徒の自立・共生の意識を高めることが主な目的です。生徒たちは、大学生・高校生リーダーおよび同級生と寝食を共にしながら自分自身と向き合いました。



高等部ダンス部が全国大会出場 堂々とパフォーマンス

7月20日(土)、21日(日)に大阪府藤井寺市のパープルホールで開催された「第9回全日本高等学校チームダンス選手権大会関西予選」に、高等部ダンス部が出場し大編成部門で2位の成績を収めました。9月15日(日)には、福岡県の北九州メディアドームで開かれた全国大会に出場。全国の舞台でも普段の練習の成果を存分に発揮し、堂々としたパフォーマンスを披露しました。



関学カプセル...④

原田の森キャンパスの正門



写真は原田の森キャンパス時代の正門です。西宮上ヶ原キャンパス移転後、同窓生たちの献金により1930年に移設され、現在も大学院1号館前で学生たちを見守っています。

中学部の8人が国際教養大学の研修に参加 他校の生徒と交流し実りある学び

中学部の3年生8人が、8月27日(火)から3日間、秋田県の国際教養大学(AIU)で開かれた第6回「AIU国内留学研修」に他校の生徒たちと共に参加しました。「自分と社会の未来を想像/創造しよう!」というテーマの下、グループごとに未来社会に存在する可能性のある仕事や職業について、研究と討論を重ね、最終日に発表しました。生徒は、AIU教員による講義も受けるなど、多くの学びを得ました。



文系学生を対象にプログラミング講座 学生起業家の長安成暉さんが指導

ロボットシステム開発事業などを手掛ける会社「X-mov Japan」の代表取締役、長安成暉さん(商学部3年生)が、新規事業立ち上げを目指す文系学生を対象に、プログラミング講座「KGプログラミングアカデミー」を9月21日(土)、22日(日)に開きました。参加した学生たちは、ソフトバンク株式会社の「Pepper」も用いて、テクノロジーを活用したアイデアの立案から実現までの流れを学びました。



春学期の大学卒業式と大学院学位記授与式を挙 250人を送り出す

2019年度春学期の大学卒業式と大学院学位記授与式が9月17日(火)、西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂であり、大学からは199人が卒業、大学院からは修士学位記9人、専門職学位記40人、博士学位記2人の学生を社会に送り出しました。この中には、国際協力機構(JICA)による「シリア平和への架け橋・人材育成プロジェクト」で来日した3人のシリア国籍の方も含まれます。



関西学院グリークラブが創部120周年 記念フェスティバルを開催

1899年に発足し、日本で最も長い歴史を持つ男声合唱団「関西学院グリークラブ」が今年、創部120周年を迎え、9月29日(日)に西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂で記念フェスティバルを開催しました。

また今年は、グリークラブが代々歌い続けてきたクロアチアの愛国歌「ウ・ボイ」の日本伝承100周年。旧チェコスロバキア軍の合唱隊から楽譜を譲り受け、以来、グリークラブの特別な歌となりました。そのようなつながりからフェスティバルには、クロアチアのドラジェン・フラスティッチ駐日大使や、チェコのマルチン・トムチョ駐日大使、スロバキア大使館のユライ・ペトルシュカ参事官らも来場しました。

記念ステージでは、中学部、高等部、ウィメンズの各グリークラブ、そしてOB団体の新月会も出演し、「ウ・ボイ」を演奏しました。



KGグルメ

BIG PAPA(西宮上ヶ原キャンパス) LUNCH BOX(神戸三田キャンパス)

鶏竜田ゆず風味

が たっぷり食べたい!でも、さっぱりいきたい!そんな時にお薦めしたいのが、この鶏竜田ゆず風味。揚げ物とは思えない爽やかなゆずの風味が口に広がったかと思えば、ジューシーな鶏のうま味がすぐ後から追い掛けてきます。食欲の秋が深まる季節にぴったりの一品です。ぜひお試しあれ。264円。



査読付き国際学会「JCDCG^3」 学部生と高等部生が発表

日本で1997年から定期開催されている離散数数学の国際学会「JCDCG^3 (Japan Conference on Discrete and Computational Geometry, Graphs, and Games)」の2019年の学会が9月6日(金)から8日(日)まで東京理科大学で開かれ、関西学院から水田和成さんと高野凌史さん(共に理工学部3年生)、柏木麻理子さん(文学部1年生)、村上聡さん(高等部2年生)が参加し、発表しました。査読付きの国際学会に学部生や高校生が参加し発表することは非常に珍しく、快挙です。



超高色純度の有機ELディスプレイ用青色発光材料を開発 畠山琢次・理工学部教授らの研究チーム成果が「Nature Photonics」に掲載

畠山琢次・理工学部教授とJNC株式会社の子会社であるJNC石油化学株式会社との共同研究チームは、量子ドットやLEDを超える色純度を持つ有機ELディスプレイ用青色発光材料の開発に成功しました。

畠山教授らは、発光分子の適切な位置に二つのホウ素と四つの窒素を導入し、共鳴効果を重ね合わせることで、発光スペクトルの広幅化の原因である伸縮振動の抑制に成功し、窒化ガリウム系LEDやカドミウム系量子ドットを超える色純度を持つ有機系青色発光材料(v-DABNA)の開発に成功しました。

同研究チームは、2016年にv-DABNAのプロトタイプとしてDABNAの開発に成功しており、ハイエンドスマートフォンの有機ELディスプレイに実用されています。今回開発したv-DABNAは、DABNAを大きく上回る色純度と発光効率を示しており、有機ELディスプレイの高色域化、高輝度化、低消費電力化、ブルーライトの低減などが期待できます。

本研究成果は、英国時間で2019年7月15日(月)午後4時(日本時間16日(火)午前0時)に英国科学誌「Nature Photonics」のオンライン速報版で公開されました。



高校生向けWebサイトがオープン！ 在学生と教員の「声」を通して魅力を発信

高校生を対象に、関西学院大学の魅力を発信する「高校生特設サイト」が10月1日(火)にオープンしました。「関西学院大学でのマナビと、関学生のホンネ。」をコンセプトに、在学生や教員の「声」を通して、関学のさまざまな魅力を発信していきます。全国から集まった学生のホンネ、教員や卒業生からのメッセージ、留学プログラムや学部独自プログラム、クラブやサークル、各キャンパスの魅力など、さまざまなコンテンツを公開しており、これからも随時更新していきます。ぜひサイトを訪れて関学の魅力を感じてください。



高校生特設サイト

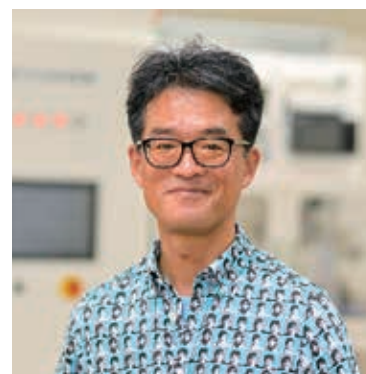
<https://whatfor.kwansei.ac.jp/>

「ハニカム型水素安全触媒」を開発 理工学部田中裕久研究室とダイハツ工業株式会社の研究グループ

理工学部の田中裕久研究室とダイハツ工業株式会社の研究グループは、福島第一原発廃炉のプロセスにおける課題の一つである水素安全の確立のため、自動車触媒を応用した実用性の高い「ハニカム型水素安全触媒」を開発しました。

ダイハツと関西学院大学は、国家的課題の解決に積極的に取り組み、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構と協力して、大型放射光施設 SPring-8 にて反応メカニズムを解析することにより開発を加速しました。触媒試作は、株式会社キャタラーと日本ガイシ株式会社の協力を得て、また、触媒改良の効果は、ドイツ・ユーリッヒ研究所 (Forschungszentrum Juelich GmbH) の大スケール反応装置において実証しました。

※本研究開発は、福島第一原子力発電所の廃炉に向けた国家プロジェクトである「国家課題 対応型研究開発推進:英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業(平成28~30年度)」の枠組みにおいて、「廃炉加速化研究プログラム:廃棄物長期保管容器内に発生する可燃性ガスの濃度低減技術に関する研究開発(研究代表者:長岡技術科学大学 高瀬和之教授)」の中で実施したものです。



日本留学AWARDS2019
私立大学文科系部門(西)で3回目の大賞



関西学院大学はこのたび、「日本留学AWARDS2019(一般財団法人日本語教育振興協会、日本語学校教育研究大会主催)」の私立大学文科系部門(西)で3回目の大賞を受賞しました。

「日本留学AWARDS」は、日本留学を志す外国人留学生の環境整備に貢献することを目的に2012年に始めました。全国の日本語学校の教職員を対象とし、留学生に薦めたい大学・専門学校を調査したアンケートの結果、大学文科系・理工系、大学院など部門ごとに、多くの教職員の支持を集めた東西地域の上位校が選出されます。

関西学院大学はこれまで、2013年に入賞、2014年に大賞と大学院部門の入賞、2017年に入賞、2018年に大賞を受賞しました。

読者アンケート
&
プレゼント

関学ジャーナルのアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方の中から抽選で6名様に「カラーマグカップ(白、ネイビーのいずれか一つ)」(直径約8㌢、高さ約9㌢)をプレゼントします。右記QRコードからアンケートにお答えください。締め切りは2019年12月13日(金)。当選は発送をもってかえさせていただきます。

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの発送以外では利用いたしません。

Present



Question
naire

パソコン
URL ↓

<https://www.kwansei.ac.jp/kgj/>

スマートフォン



交換留学生183人が来日
関西学院大学での新たな生活に期待

秋学期に関西学院大学で学ぶ海外協定大学からの交換留学生が来日。9月10日(火)に関西学院会館でホストファミリーとの顔合わせがあり、11日(水)には食堂BIG MAMAでウェルカムランチが開かれました。交換留学生たちは、これから始まる関西学院大学での生活に「日本語や日本文化など、多くを吸収したい」と意気込んでいました。2019年秋学期の交換留学生は31カ国の183人。2018年秋学期の148人に比べ35人増えました(2019年春学期は113人)。



関西学院大学では、交換留学生を受け入れていただけるホストファミリーを募集しています。詳細は下記のリンクからご確認ください。



国際教育・協力センター
ホームページ
関西学院大学での
ホストファミリーについて



【YouTube動画】
交換留学生と
ホストファミリーの声①



【YouTube動画】
交換留学生と
ホストファミリーの声②

数字でみる関学

各キャンパスの大学図書館には数多くの図書・資料が所蔵されており、多くの利用者が貸出サービスを活用しています。学生たちはどのような本を借りているのでしょうか。昨年度と10年前の2008年度に西宮上ヶ原キャンパス大学図書館で学生が借りた新書・文庫ランキングを調べました。

新書・文庫 貸し出しランキング

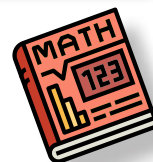


2018年度貸し出しランキング



順位	貸出回数	タイトル
1位	16回	『「からだ」と「ことば」のレッスン』／竹内 敏晴 著(講談社)1990年
		『いま哲学とはなにか』／岩田 靖夫 著(岩波書店)2008年
		『演劇入門』／平田 オリザ 著(講談社)1998年
		『黒猫／モルグ街の殺人 他6編』／ポー 著；小川 高義 訳(光文社)2006年
6位	15回	『手紙』／東野 圭吾 著(文藝春秋)2006年
		『パラレルワールド・ラブストーリー』／東野 圭吾 著(講談社)1998年
		『花の鎖』／湊 かなえ 著(文藝春秋)2013年
9位	14回	『悲しき酒場の唄』／カーソン・マッカーラーズ 著；西田 実 訳(白水社)1992年
		『AI(人工知能)まるわかり』／古明地 正俊、長谷 佳明 著(日本経済新聞出版社)2017年
		『スロウハイツの神様』上／辻村 深月 著(講談社)2010年
12位	13回	『リバース』／湊 かなえ 著(講談社)2017年
		『オタクはすでに死んでいる』／岡田 斗司夫 著(新潮社)2008年
		『きらきらひかる』／江國 香織 著(新潮社)1994年
		『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』／伊藤 公一朗 著(光文社)2017年
		『ブラック奨学金』／今野 晴貴 著(文藝春秋)2017年
		『私が彼を殺した』／東野 圭吾 著(講談社)2002年
		『人間失格』／太宰 治 著(新潮社)2006年
		『星の王子さま』／サン＝テグジュペリ 作；内藤 濯 訳(岩波書店)2017年
		『戦争は女の顔をしていない』／スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著；三浦 みどり 訳(岩波書店)2016年
『放課後』／東野 圭吾 著(講談社)1988年		

今人気の、東野圭吾さんの作品が4冊、湊かなえさんの作品が2冊ランクイン。その時々の人気作家の作品や時代に沿った注目ワードが含まれる本が比較的良好読まれているのが分かります。一方で、『星の王子さま』や太宰治作品などの名著が、今も変わらず学生の関心を集めているようです。



2008年度貸し出しランキング

順位	貸出回数	タイトル
1位	15回	『超バカの壁』／養老 孟司 著(新潮社)2006年
2位	14回	『「かわいい」論』／四方田 犬彦 著(筑摩書房)2006年
		『グリム童話ーメルヘンの深層』／鈴木 晶 著(講談社)1991年
5位	13回	『続日本紀(中)全現代語訳』／宇治谷 孟 訳(講談社)1992年
		『キャラ化するニッポン』／相原 博之 著(講談社)2007年
		『こころ』／夏目 漱石 作(岩波書店)2002年
8位	12回	『人は見た目が9割』／竹内 一郎 著(新潮社)2005年
		『ジャポニスム 印象派と浮世絵の周辺』／大島 清次 著(講談社)1992年
		『バカの壁』／養老 孟司 著(新潮社)2003年
12位	11回	『高慢と偏見』上／ジェーン・オースティン 作；富田 彬 訳(岩波書店)1994年
		『生きる意味』／上田 紀行 著(岩波書店)2005年
		『NHK-問われる公共放送』／松田 浩 著(岩波書店)2005年
		『ダブリンの市民』／ジョイス 作；結城 英雄 訳(岩波書店)2004年
		『つつこみ力』／バオロ・マツァリアーノ 著(筑摩書房)2007年
		『ディズニーの魔法』／有馬 哲夫 著(新潮社)2003年
		『漢帝国と辺境社会ー長城の風景』／靱山 明 著(中央公論新社)1999年
『現代若者ことば考』／米川 明彦 著(丸善)1996年		
『斜陽 他一篇』／太宰 治 作(岩波書店)1988年		
『動物化するポストモダン オタクから見た日本社会』／東 浩紀 著(講談社)2001年		

皆さんの記憶に残っているタイトルの本、読んだことがある本、「もう10年以上も前なのか!」と思う本が幾つかあるのではないのでしょうか。当時人気だった本を今読み返すことで新たな発見があるかもしれません。

こうしてランキングで見ると、読みたい本や読んでみたかった本が改めて見つかったのではないのでしょうか。各キャンパスの図書館では、学部生は14日間本を借りることができます。テーマ別の図書・資料の展示も行っているため、読みたい本や資料がきっと見つかるはずです。ぜひ積極的に活用して、充実した読書の秋を過ごしてください。





世界は思ったより狭く、偶然という名の必然でできている



International Tutorとして、留学生とハイキング(Garmisch-Partenkirchenから見えるアルプス)



26カ国・約90人のクラスメイト

黄色いタージ・マハルを見たことがありますか？
その衝撃を、私は今でも忘れません。同時に大気汚染について何かしなければという危機感を覚え、環境先進国ドイツの大学院進学に至りました。
再生可能エネルギー(再エネ)と環境経済学を専攻。今学期は太陽熱発電の数学的モデルや太陽光との違い、マシンラーニングやドローンなど鳥の衝突を減らす風力発電システム、世界と日本(ミドリムシ)のバイオエネルギー市場、G7+中国・インドの温室効果ガス削減2030年目標をテーマに、文献を100以上読み発表しました。
大学院と並行し、再エネアセットマネジメントを最適化するドイツ本社のソフトウェア会社で勤務。私は日系企業へのマーケティング・セールス・ファイナンスのサポートやリサーチを行い、サンフランシスコの上司に毎週レポート。その後、東京の投資銀行でサマリーインターンをした際、それら日系企業や、友人が働くドイツ企業がクライアントであったことから、点と点がながっていきました。
International Tutorとして留学生へのイベントも運営。関学でも留学生を支援した中で、10人以上とヨーロッパに来てから再会。町を一緒に回りながら、彼らの実家では家族の一員としてでもなしてもらいました。グローバルにチャレンジを続けた関学での活動が、今日の私を形成しています。
私はもうすぐ、学生という港町から社会人という航路に出ます。皆さんは今、どんな町に泊まっていますか？走り回って、ときには落ち着いて、そこで得られるもの、出会える人を大切にしてください。思ったより狭くて、偶然という名の必然でできている、それが世界だったりします。

入山さんの在学時代の活躍はこちら
「ダブルチャレンジ修了生の声」↓



協定校紹介

ヴェルツブルク大学 University of Würzburg

ヴェルツブルク大学は、フランケンワインと大司教の宮殿「レジデンツ」で有名なバイエルン州ヴェルツブルク市に、1402年に設立されたドイツで4番目に古い総合大学です。ヨーロッパの研究大学連合であるコインブラ・グループのメンバーで、多数のノーベル賞受賞者を輩出。とりわけ医学部と経済学部の評価が高いのが特徴です。日本でなじみの深い江戸時代の医者・博物学者のフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの出身校でもあります。

関西学院大学は、同大学の商・経営・経済学部と2019年2月に学生交換協定を締結し、2020年度から学生交換を本格的に開始します。なお、関西学院大学はドイツの10大学と協定を締結し交換留学、短期ドイツ語研修、ドイツ語中期留学、EUフィールドワーク等を実施しています。2018年度には合計67人の学生が留学するなど、ドイツの大学は留学先として人気を集めています。





大学図書館ホームページでは、開館日・閉館時間、図書館のニュースの確認やOPAC、Webデータベースなどの情報検索ツールを使うことができます。



「Books on Japan」コーナーを リニューアルしました！

西宮上ヶ原キャンパス大学図書館3階の「Books on Japan」コーナーに、英語版の日本のコミック113冊を追加しました。語学学習に使うのはもちろん、日本語独特の表現をどのように翻訳しているのか、そこに注目して楽しむのもおすすめです。

2015年に設置したこのコーナーには、現代日本の経済、社会、文化、風習などについて英語で書かれた図書を約650冊並べています。他にも、世界無形文化遺産に登録された和食のレシピ、京都など観光地のガイドブックがあります。関西学院大学に在学中の留学生はもちろん、英語に興味のある人や留学を予定している人に役立つ図書がきっとあるはずです。貸し出しも可能ですので、積極にご利用ください！



西宮上ヶ原キャンパス大学図書館3階 Books on Japanコーナー



大学図書館ホームページ
<https://library.kwansei.ac.jp/>



@KG_Lib

教 職 員 の 新 刊



未来を生きるスキル

鈴木謙介 社会学部准教授 著 KADOKAWA

人工知能やロボットによる自動化で仕事が失われることが危惧されている時代。本書はそうした俗説の誤りを正しつつ、そこに存在する真のリスクや現代における個人主義的な傾向を指摘し、これからの社会で必要となる「協働」の価値について説いています。協働とは、必ずしも何かに秀でているわけではない普通の人たちが、自分にできることを持ち寄って協力し合う関係のこと。将来について考える学生にお薦めの一冊です。



中級フランス語
冠詞の謎を解く
小田涼 文学部教授 著
白水社



文化人類学と現代民俗学
桑山敬己 社会学部教授 著
島村恭則 社会学部教授 著
鈴木慎一郎 社会学部教授 著
風響社



中近世武家菩提寺の研究
早島大祐 文学部教授 編
小笠子社



日本語教育はどこへ向かうのか
移民時代の政策を動かすために
牲川波都季 総合政策学部准教授 編著
寺沢拓哉 社会学部准教授 著
くろしお出版



監査報告の変革
欧州企業のKAM事例分析
林隆敏 商学部教授 編著
中央経済社



喪失学
「ロス後」をどう生きるか？
坂口幸弘 人間福祉学部教授 著
光文社



自治体財政健全化法の
しくみと運営
制度の詳解と運用のポイントがわかる
小西砂千夫 人間福祉学部教授 著
学陽書房



アメリカ文学との邂逅
チャールズ・ブコウスキー
スタイルとしての無防備
坂根隆広 文学部准教授 著
三修社

*本データは、これらの書籍が刊行された当時のものです。*これらの図書の多くは、大学図書館で貸し出しています。

聖書に聞く



院長 舟木 譲

ファリサイ派の律法学者は、
イエスが罪人や徴税人と一緒に食事をされるのを見て、
弟子たちに、「どうして彼は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と言った。
マルコによる福音書 2章16節

イエスが生前交わった人々の多くが、当時のユダヤ社会の中でさまざまなレッテルを貼られ、社会から疎外されていた人々でした。今回の聖書箇所では、「罪人」「徴税人」という「負」のレッテルを貼られた人々とイエスが食事を共にすることに對する疑義が、当時のユダヤ社会における「物差し」であった律法学者から出されています。この指摘の背後には、私たちがそれぞれ「私にしかない」多様な物語を紡いでいる現実を無視し、社会的な立場や犯した過ち等に対して雑把なレッテルを貼り、類型化することを良しとする思いが存在します。現在も「外国人」「難民」「移民」等々のレッテルを貼り、短絡的な「同質性」を持つ「豊かさ」のみが強調され、その傾向がますます加速しています。自らとは異なる人生を送り、さまざまな物語を紡いできた人々と交わる機会を排除し、「同質」な考え方をする人々とのみ交わることは、社会に安心をもたらすように思われます。しかし、私たちは、たとえ家族でも誰一人同じ人はおらず、独自の物語を持っている、というのが当たり前の現実です。その違いに優劣はなく、お互いの物語を認めないとき、社会がいかに残酷なものになるかは、これまでの歴史で明らかです。一人ひとりが紡いでいる物語が互いに尊重される社会は、「私にしかない」物語が大切にされる社会であることに、今改めて気付く必要があるのではないのでしょうか。

編集後記

今号の特集では、原田の森キャンパスがあった神戸市灘区の王子動物園周辺を舟木院長と学生と訪れました。院長の解説を聞きながら、関西学院発祥の地を巡る贅沢な時間…。皆さんも神戸に行く際はぜひ、本誌を旅のお供に原田の森キャンパス跡地を巡り、歴史を感じてみてください！(りよ)



関西学院大学 Instagram

関西学院大学のキャンパスや授業風景、学生の活動の様子など、さまざまな瞬間を写真や動画で紹介！友達が出ているかも。



アカウント名 / kwanseigakuinuniversity



Kwansei Grand Challenge 2039

関西学院は、創立150周年を迎える2039年を見据え、関西学院のありたい姿・あるべき姿を示した「超長期ビジョン」と、それを実現するための前半10年間(2018-2027年)の方向性を示した「長期戦略」からなる将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」を2018年に策定しました。現在は、これに基づく「中期総合経営計画」で、さまざまな施策が進んでいます。詳細は下記Webサイトをご覧ください。

<https://kgc2039.jp/>



DIAYs OFFICE

「オフィスらしさ」より、これからは「働く人らしさ」が大切。
ワークスタイルとライフスタイルの境目があいまいになる中で、
働く場としてのオフィスに求められることも変化しています。
仕事のことも、プライベートのことも、同じ感覚で話すことができる。
予想もしなかったような人やモノと出会い、日々気づきや発見にあふれている。
一人ひとりの「らしさ」に寄り添い、自分ならではの気持ちいい使い方ができる。

働く人が大事にしたい価値観を、
ちゃんと大事にできる余白があるオフィスへ。

ワークスタイルも、ライフスタイルだ。